専門教育科目　講義科目

科目名：	所得税法入門	科目コード	EJ61
		単位	2
科目主査： 佐々木 理恵	担当講師： 佐々木 理恵、水本 昌克	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし ※状況によって実施しないこともある	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

一番身近な税金でありながら、一番複雑な税金と感じるのも所得税です。本科目では、初めて所得税法を学習する方々を対象に、所得税の基本的事項と全体像を理解していただくことを学習の目的とします。
所得税は、各種の所得を10種類にわけて、それぞれの所得金額を計算するのが特色です。その分類や計算の方法、所得の総合、税額計算、申告と納税等の所得税法の基本的な事項と全体的な流れを、図表などを利用してわかりやすく解説します。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：	所得税法に興味のある方を対象とします。 確定申告等に知識を活用したい方も対象としています。
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストを熟読し、不明な点は質問ができるように準備をしてください。事前学習度合いが授業内容の理解に大きく影響します。授業回によって、個人ワークの実施・解説で理解を深めていきます。		
テキスト	『所得税法 超入門〔令和６年度改正〕』，税理士法人山田＆パートナーズ監修，税務経理協会，最新版		

この科目の 到達目標	①所得税法の基本事項（所得税法の専門用語）を理解して、10種類に分類された所得について、それぞれの区分、金額の計算、課税方法を説明できる。 ②確定申告について理解し、青色申告の要件および特典を白色申告と比較しながら説明できる。
成績評価 の 方 法	授業をきちんと聞き、重要な点はノートにまとめてください。出席及び提出された課題の理解度、最終試験結果を評価対象とします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	・授業で学習した内容を復習し、再度テキストをよく読み、理解を深めること。 ・学習した知識を活用して実際に所得税額を計算することで、計算過程を理解すること。 ・新聞やインターネットなどに掲載される所得税に関する記事に関心を持つこと。
事後学習の 参考文献	『基礎から身につく所得税』，小田 満，大蔵財務協会,2024年 『図解所得税』，田仲正之(編)，大蔵財務協会,2024年 インターネット：「国税庁ホームページ」 https://www.nta.go.jp/

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑電卓 ☑カメラ・マイクは必須となります。